

平成 28 年 1 月 22 日

各 位

会 社 名 株式会社グラフィットデザイン
 代表者名 代表取締役社長 松田 喜良
 (JASDAQ コード番号 7847)
 問合せ先 取締役管理本部長 窪田 悟
 (TEL. 0494-62-2800)

サイクル事業休止に伴う特別損失の計上並びに、業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 2 月期(平成 27 年 3 月 1 日～平成 28 年 2 月 29 日)において、下記の通りサイクル事業の休止にともない、棚卸資産評価損等を特別損失に計上することといたしましたので、お知らせいたします。

また、平成 27 年 10 月 1 日付け「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました、通期業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 事業休止について

(1) 休止に至った理由

サイクル事業は、ゴルフシャフト事業で培った CFRP の設計開発技術を活用し収益性の高い事業を展開すべく、平成 19 年にプロジェクトを立ち上げて、平成 21 年からフルカーボンフレームの製造販売を開始、欧米勢が席捲する国内スポーツサイクルマーケットにおいて、独自コンセプトのオリジナル製品を主体に製造販売を展開して参りました。

平成 24 年からは、直販体制を敷き製品ラインアップの拡充を図り、売れ筋価格帯への展開等を進めることで収益向上に努めてまいりましたが、競合大手に差別化するためのオリジナル製品開発コストの上昇、不安定な生産供給体制、営業力の不足等が原因となり、今期まで収益を上げるに至りませんでした。

この結果、当社取締役会は、今後の事業計画を精査し将来的にも収益向上は困難であると判断、全社の収益基盤強化のためサイクル事業は休止することを決議いたしました。

(2) 特別損失の計上について

この事業の休止に伴い、平成 28 年 2 月期決算において、棚卸資産評価損等を特別損失として約 67 百万円計上することとなりました。

(3) 今後の計画

当社のオリジナルサイクルパーツの製造販売は、平成 28 年 2 月 29 日をもって休止いたしますが、獲得技術を活用した関連 OEM パーツの供給、および設計支援は継続します。

また、すでに販売済みの当社サイクル製品については、平成 31 年 2 月 28 日まで、当社「サイクル製品品質保証係」にて、修理・アフターサービス・補修部品の供給など、引き続き品質保証の対応を行って参ります。

2. 業績予想の修正

平成 28 年 2 月期通期 個別業績予想数値の修正(平成 27 年 3 月 1 日～平成 28 年 2 月 29 日)

| | 売 上 高 | 営 業 利 益 | 経 常 利 益 | 当 期 純 利 益 | 1 株 当 たり 当 期 純 利 益 |
|-----------------------------|--------|---------|---------|-----------|-----------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 3,427 | 354 | 371 | 224 | 34.91 |
| 今回発表予想(B) | 2,850 | 95 | 125 | 65 | 10.11 |
| 増減額(B-A) | △ 577 | △ 259 | △ 246 | △ 159 | |
| 増減率(%) | △ 16.8 | △ 73.2 | △ 66.3 | △ 71.0 | |
| (ご参考)前期実績 (平成 27 年 2 月期) | 4,024 | 934 | 1,032 | 673 | 102.84 |



GRAPHITE DESIGN INC.



JASDAQ

(2) 業績予想修正の理由

平成 27 年 10 月 1 日に公表いたしました通期業績予想に対し、売上高、営業利益、経常利益の減少の要因は、国内ゴルフ市場においては、一昨年 4 月の消費税増税を端緒として個人消費が低迷し買い控えが続いており、新製品を中心としたゴルフクラブ等の販売が低調に推移しております。特に当社のメイン市場である高価格帯のウッドクラブの販売は大きく低迷が続いております。

このような市場環境の中で、各ゴルフクラブメーカーは在庫調整を行いながら確実に販売できる数量のみ生産するという販売戦略に転換しており、現在も継続しております。昨年 10 月には、当社の主力商品でもある自社ブランドシャフト(Tour AD)の 2016 モデル「G Pシリーズ」を発売しましたが、初期受注が当初予想に比べて大きく減少したことで、売上高及び営業利益が大幅に減少する見込みとなります。

また、当期純利益につきましても、「1. (2) 特別損失の計上」に記載の通り、サイクル事業の休止に伴う約 67 百万円を特別損失に計上することにより、大幅な減益見込みとなります。

上記により、通期業績予想におきましては、売上高は 2,850 百万円 (16.8%減) に修正します。各段階利益は営業利益 95 百万円 (73.2%減)、経常利益 125 百万円 (66.3%減)、当期純利益 65 百万円 (71.0%減) に修正いたします。

(注)業績予想につきましては、現時点で想定できる情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により異なる可能性があります。

以上